

# 匝瑳市消防団中央分団役員会議

平成25年8月28日（水）  
午後7時55分集合～1部管轄（砂原会館）  
分団長 那智博行  
副分団長 小泉泰孝  
副分団長 戸村哲也

## 1 開 会

## 2 分団長 挨拶

## 3 議 事

- (1) 消防定例表彰について
- (2) 匝瑳市総合防災訓練参加について
- (3) 消防施設要望調査について
- (4) その他

ガソリン携行缶の使用方法について（資料）

防災訓練用CD 音声広報 中央分団地区別避難案内

9月の合同手入れについて

消防団本部役員 団庫巡回について

普通Ⅰ救命講習の実施について

今後の消防関係行事 開催日程のおしらせ

次回の部長・班長会議の開催について

## 4 閉 会

内定者

1	千葉県消防協会長表彰 精勤章	中央4部 部長	大友 洋二
2	防災危機管理部長表彰	中央1部 部長	伊藤 幸司
3		中央2部 団員	鈴木 良則
4		中央3部 部長	岩井 仁永
5		中央5部 団員	石橋 健司
6	匝瑳市消防団長表彰 (千葉県大会出場部)	中央4部	団体
7		中央5部	団体
8	匝瑳市長特別 功績章	中央5部 部長	市原 直

各部役員推薦

1名	千葉県消防協会 海匝支部長表彰 功労章		
4名	千葉県消防協会 海匝支部長表彰 精勤章		
	//		
	//		
	//		
1名	匝瑳市長表彰 功労章		
2名	匝瑳市消防団長表彰 功労章		
	//		

25年度退団予定者	
1	
2	
3	

消防定例表彰 選出基準について

■千葉県消防協会海匝支部長表彰■

功労賞 永年にわたり勤務に精励し、技能熟達かつ平素よく率先垂範して消防の使命達成に尽力し、その功績は顕著である者。ただし、勤続年数は原則として5年以上とする。

精勤賞 消防の使命達成に尽力し、成績優秀な者で、勤続年数は5年以上とする。

■匝瑳市長表彰■

功労賞 4年以上勤続(H26年3月31日現在)し、及びその任務遂行にあたって、その功労が抜群である者。

■匝瑳市消防団長表彰■

功労賞 2年以上勤続(H26年3月31日現在)し、及び消防団員として成績優秀な者。

各表彰候補には「自薦他薦」は問いません。「お任せ」でも構いません。

また、25年度で退団予定の団員も合わせて、ご連絡下さい。届出〆切 9月14日(土)メール可

## (議題2) 匠瑳市総合防災訓練(自主防災組織育成型訓練)について

日時 平成25年9月29日(日) 午前7時00分～ <雨天中止※6時に防災無線で周知>

場所 各小学校・八日市場第二中学校・飯高小跡地・及び野栄生涯学習センター

概要 自主防災組織育成型の防災訓練を実施

中央分団としては、昨年同様に「震災が起きたら、我々消防団員は何をすべきか？」を各部で考え、訓練に参加して頂き、震災・災害マニュアル「中央地区全体の状況・情報の共有と、管轄地区の巡回と広報活動」を実践して頂きたい。

詳細

- : 07:00 市の行政防災無線による「地震の発生」の通達 (中央分団アナログ無線 開局)
- : 05~10 家族の安全を確保し消防団員としての任務開始 団庫に近い団員のみ集合→巡回→広報。
- : 10~35 中央分団アナログ無線にて、状況(団員人数・被害状況・今後の活動)などを本部へ報告。
- : 10~35 消防車両による町内巡回・広報活動 (各部との無線通話チェックも行って下さい。)
- : 35 防災訓練会場(避難所)付近へ集合。(八日市場小2・4・5部・第二中1・3・6部)
- : 07:45 匠瑳市防災無線により「火災の発生」の通達
- : 45 各部長指示の元、お互いに連携し中継体制を作り消火活動を始める。
- : 07:30 通報: 避難住民から自主防災会長(区長)へ「倒壊家屋に逃げ遅れた住民有り」の報告  
避難住民→自主防災会長→地区支部長→災害本部→団本部→中央分団→地元部 :45
- : 07:55 鎮火・救出完了 救出後の報告 中央分団→団本部→災害本部

※関係機関 ◆自主防災会長=区長 ◆地区支部長=市役所職員 ◆災害対策本部=市役所(職員)

### 【①訓練会場 八日市場小学校の場合】

火災発生の連絡が入る。公民館付近に待機している、中央2部・4部・5部は、サイレンを鳴らし八日市場小校庭へ向かう。避難住民より「〇〇家が倒壊し、家の中に人が…」と自主防災会長(万町区長)に連絡が入る。

**通報** 避難住民→自主防災会長→地区支部長→災害本部→団本部→中央分団→中央4部  
**指示** 団本部→中央分団本部→中央4部

- 消火活動 中央2部・5部は現着後、中継体制を取り小学校裏山の消火作業を行う。  
・中央2部が水利(校門前・消火栓)を確保し、中央5部へ中継を行う。中央5部は2線放水を行う。

**指示例** 「501より201へ、送水を開始して下さい」「201了解」 戸村副分団長の「放水止め」まで

- 救助活動 中央4部団員は徒歩にて現場へ向かい、救出作業を行う。(担当任務と人数)  
・簡易担架もしくはリヤカーを万町会館へ取りに行く(3名)  
・倒壊家屋へ救助に向かう(5名)  
・避難所⇔倒壊現場付近の交通整理(2名)

**指示例** 「003より401、状況は？」 「401です。無事救出完了、これより搬送」 「003了解」  
**報告例** デジタル無線「戸村より団本部へ」「団本部です」「4部より無事救助完了の報告あり」「本部了解」

### 【②訓練会場 第二中学校の場合】

火災発生の連絡が入る。若潮薬局付近に待機している、中央1部・3部・6部はサイレンを鳴らし第二中学校校庭へ向かう。到着後、避難住民より「〇〇家が倒壊し、家の中に人が…」と自主防災会長(田町区長)に連絡が入る。

**通報** 避難住民→自主防災会長→地区支部長→災害本部→団本部→中央分団→中央 3 部  
**指示** 団本部→中央分団本部→中央 3 部

- 消火活動 中央 1 部・6 部は現着後、消火作業を行う。水利は若潮公園防火水槽とする。  
・中央 1 部が水利を確保し、中央 6 部へ中継を行う。中央 6 部は 2 線放水を行う。

**指示例**「601 より 101 へ、送水を開始して下さい」「101 了解」 那智分団長の「放水止め」まで

- 救助活動 中央 3 部団員は徒歩にて現場へ向かい、救出作業を行う。(担当任務と人数)  
・簡易担架・リヤカーを田町会館へ取りに行く(3 名)  
・倒壊家屋へ救助に向かう(5 名)  
・避難所⇄倒壊現場付近の交通整理(2 名)

**指示例**「001 より 301、状況は？」 「301 です。無事救出完了、これより搬送」 「001 了解」  
**報告例**デジタル無線「那智より団本部へ」「団本部です」「3 部より無事救助完了の報告あり」「本部了解」

### 【③訓練の事前調整について】

- 無線機について (中央分団はアナログ無線機を使用・消防団本部はデジタルトランシーバー使用)  
中央分団においては、アナログ無線機の保有率が多いため、通常通りアナログ無線機を使用します。  
各部からの情報は分団役員が総括し、消防団本部または災害対策本部へ、デジタルトランシーバーにて報告します。**※尚、部長は一応、デジタルトランシーバーも保持して下さい。しかし情報の混乱を防ぐため、通話はCH2の中央分団内だけにして下さい。CH2は固有名詞でも構いません。**

- 救助訓練実施にあたり、事前調整(中央 3 部・4 部)  
・開催地の区長に担架等の器材借用の許可を得る。またコミュニティーセンター(会館)の開放も  
・田町区の倒壊家屋(東光)・要救護者(1 名)・避難住民(通報者 1 名)の依頼  
万町区の倒壊家屋(天神)・要救護者(1 名)・避難住民(通報者 1 名)の依頼  
・避難住民と区長への通報説明 避難住民→区長→地区支部長(市役所職員)

- 救助方法及び救助機具使用方法の講習 本署事前指導(中央 3 部・4 部対象・希望部も可能)  
・講習場所と日時 匝瑳署にて午前中(10 時～)約 1 時間程度 (講習日は要予約)  
・参加人数 3 名程度  
・持参品 救命担架・折畳みリヤカー・その他  
・アポロキャップ・活動服・黒長

- 避難所(訓練会場)付近を、一時的に通行止めにして下さい。(警察には連絡済み)  
・八日市場小(西側福善寺 2 部団員)(南側リリー美容室 4 部団員)(東側鈴木印刷 2 部団員)  
・第二中学校 若潮公園⇄校門前はホースブリッジで対応、路肩駐車消防車両の前後には団員を配備

※尚、小学校付近の一時通行止めに伴い、迂回路の案内もお願いします。

**(議題3) 消防施設要望調査について**

消防施設の修理・改善・撤去の依頼

	場 所	要 望 理 由	概算 経費
防火水槽有蓋化			
不用消防施設撤去			
ホース乾燥塔新設			
高額な修繕 10万円以上の修繕			

※ ホース乾燥塔の劣化に注意 (滑車・ひもの劣化)

※ 9月の自主手入れにて、管轄地区の確認をお願い致します。届出〆切 9月14日(土)メール可

**(議題4) その他**

■ガソリン携行缶の使用について

■防災訓練用CD 音声広報 (中央分団地区別避難案内)

■9月の合同手入れについて

自主手入れにて、防火水槽およびホース乾燥塔の滑車・ひもの劣化をチェックして下さい。  
9月29日(日)の総合防災訓練を中央分団合同手入れとします。

■10月27日(日) 消防団本部役員 団庫巡回

詳細は後日ご連絡致します。

■普通Ⅰ救命講習の実施について (10~11月頃に予定)

対象 部長・班長・新入団員+希望者

内容 主として成人の心肺蘇生法と簡易応急手当の講習

受講後には「普通Ⅰ救命講習修了証」が発行されます。

■今後の消防関係行事 開催日程

9月14日(土) 第34回九都県市合同防災訓練 (会場 銚子市・千葉化学大学)

10月17日(木) 第21回全国女性消防操法大会 (会場 横浜市消防訓練センター)

11月24日(日) 津波避難訓練 午前8時~ (会場 野栄地区)

11月25日(月) 消防団120年・自治体消防65周年記念大会 (会場 東京ドーム)

12月28日(土) 歳末特別警戒(28日3・4部)・(29日5・6部)・(30日1・2部)

■次回の「部長・班長会議」は12月4日(水)20時~(6部\_\_\_\_\_ )にて行います。